



水化学部会部会賞細則

2024年3月15日 第23回水化学部会全体会議承認

(目的)

第1条 本細則は「水化学部会規約」第1条、第3条ならびに「部会・連絡会・支部表彰制度規程」(0110)第1条に基づき、水化学部会部会賞（以下、「部会賞」という）について定めることを目的とする。

(趣旨)

第2条 若手技術者による水化学部会活動への貢献を顕彰し同分野の発展をうながすことを目的として、部会賞を授与する。

(表彰の種類、対象、要件)

第3条 部会賞に下記賞を設ける。

2 奨励賞：原子力発電に係る水化学分野に関する顕著な学術または技術上の業績のあった40歳以下（下記（1）の論文発表時）の水化学部会会員または学生部会員（※1）に授与する。

（※1）応募時点で水化学部会会員または学生部会員でない場合でも、応募後すみやかに入会した者に対しては授与する。

（1）過去3年以内に、応募内容に深く関連する筆頭著者論文を査読付きの学術誌に1報以上発表しており、同様の研究内容で一般社団法人日本原子力学会（以下、「本会」という）の他部会の奨励賞等を受賞していない個人のうち、過去に同賞を受賞していない個人を対象とする。

（2）原則として、毎年3名以内とする。

3 講演賞：日本原子力学会または水化学部会が主催もしくは共催する行事において、原子力発電にかかる水化学分野の研究・技術開発成果について、優れた口頭発表をおこなった40歳以下（発表時）の水化学部会会員または学生部会員（※2）に授与する。

（※2）応募時点で水化学部会会員または学生部会員でない場合でも、応募後すみやかに入会した者に対しては授与する。

（1）国際会議（Nuclear Plant Chemistry Conference (NPC)、Symposium on Water Chemistry and Corrosion in Nuclear Power Plants in Asia (AWC)）および本会「春の年会」、「秋の大会」で口頭発表した個人のうち過去に同賞を受賞していない個人、かつ過去に同一の内容で奨励賞を受賞していない個人を対象とする。なお、過去3年間の行事（講演）を対象とする。

（2）原則として、毎年3名以内とする。

(選考方法)

第4条 部会賞選考小委員会を設置する。選考小委員会は、部会長が指名する運営小委員会委員（代行者を含む）6名以上で構成する。

- 2 選考対象者あるいは推薦者となった者は、該当する審査に限り選考作業に加わることができない。
- 3 委員の辞退等により選考小委員会の委員数が6名を下回った場合には、委員を追加指名する。
- 4 委員名は選考時には公表しないこととし、公正を期すため選考小委員会の任期後に公表する。
- 5 選考小委員会は、水化学部会ホームページ、水化学部会連絡メールにより奨励賞および講演賞の募集を公告し部会員に周知し、水化学部会員に水化学部会賞（奨励賞）および水化学部会賞（講演賞）受賞候補者の推薦（自薦および他薦）を求める。なお、複数の著者がいる論文を対象として奨励賞に推薦された者については、被推薦者の貢献度について、推薦者に説明を求めることができる。

（表彰時期）

第5条 奨励賞および講演賞の表彰は、部会全体会議にておこなう。

（選考結果報告）

第6条 表彰決定後、選考過程および選考結果を理事会へ報告する。

（改定）

第7条 本細則の改定は、水化学部会全体会議にて決定し、部会等運営委員会ならびに理事会に報告するものとする。

（その他）

第8条 本細則で定められていない事項については、運営小委員会において協議する。

附則

- 1 2018年10月5日 第16回水化学部会全体会議制定、同日施行。
2018年10月17日 部会等運営委員会メール報告、2018年10月9日 表彰推薦委員会承認
- 2 改定履歴
 - ① 2023年3月16日 第22回水化学部会全体会議承認
 - ② 2024年3月15日 第23回水化学部会全体会議承認、2024年5月14日 部会等運営委員会メール報告、2024年5月31日 第8回理事会報告

附則

- 1 2023年3月16日改定の細則は、水化学部会全体会議承認の日から施行する。
- 2 2024年3月15日改定の細則は、水化学部会全体会議承認の日から施行する。